

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
甲府市	北部山付東部果樹地域 (塚原町)	令和4年3月31日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	6.18ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	4.7ha
③地区内における80才以上の農業者の耕作面積の合計	0.7ha
うち後継者が居ない農業者の耕作面積の合計	0.2ha
④地区内において今後耕作できなくなる可能性のある耕作面積の合計	3.2ha
⑤地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>(1) 農業者の高齢化や後継者の不在により、農地が遊休化しないよう、現状の維持・管理を行うだけで精一杯となっている。また、農地の出し手は増加しているが、受け手は少なく、新たな農地の受け手の確保が必要となっている。</p>
<p>(2) 地域の農業者の大半が兼業農家であり、子供世代は自営農業に携わっていない人が多く、農業の知識・技術を継承していくことが困難となっていることから、後継者の目処がついていない農業者が多い。</p>
<p>(3) 石を含んだ土質や急傾斜地のため農業機械が入らないなど、耕作条件が不利な農地が多いことや鳥獣被害の発生が、耕作放棄地の増加を助長する原因となっている。さらに、農地が狭小な段々畑になっていることや、所有農地が分散していることが、農地集積の妨げとなっている。</p>
<p>(4) 水が少ない地域のため、稲作等の栽培に向かず、永年作物の栽培に限られてしまう。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化及び今後の方針

(1) 農地の受け手が不足しているため、地域内に限らず、地域外から新規就農者等呼び込み、農地の受け手を確保していく。

(2) 樹園地農道の周りを地域農業の中心として位置付け、遊休化を防ぎながら農地の活用を図っていく。

(3) 耕作条件が不利な農地が多く、栽培作物は限られるが、地域の営農環境に合った作物を複数の農業者がまとまって栽培することにより、地域農業の特色を打ち出し、地域の魅力を発信していく。

(4) 農業者が労働力の補完や、基幹的作業の受委託等を目的とした集落営農組織等の設立を検討し、地域ぐるみで行う農業経営に移行していく。

(5) 市民農園等の開設を検討し、高齢者や都市住民のレクリエーションの場を提供することで、農地の有効利用と併せて地域の活性化を図る。

(6) 農業委員や農地利用最適化推進委員と連携し、地域で農地情報を共有することで、農地の出し手と受け手を明確化しながら、農地銀行制度や農地中間管理機構を活用することで、農地の集積を促進する。

(7) 獣害被害が拡大し、農業収入の減少や営農意欲の低下が懸念されることから、管理捕獲の取組みと併せて、捕獲機材の導入や獣害防止柵の整備を進める必要がある。

※今後の地域の中心となる経営体は不在。